観光計画

★世界一を誇る阿蘇山をはじめ多くの観光資源に恵まれる本県の観光対策はこれからが本番。

本県は阿蘇および雲仙天草の両国立公園をはじめ、九つの自然公園、三〇余の温泉群、すぐれた自然景観および幾多の文化財に恵まれ、多彩な観光資源を持っているが、その活用は充分でなく、多くは総合的開発が遅れている。

しかし本県の観光は、九州横断道路の開通など産業基盤の整備や受入施設の充実とあいまって、いまや高いビジョンによる開発と画期的な発展が期待される時期にある。

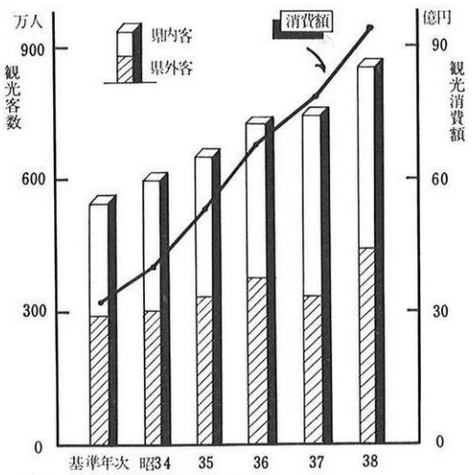
観光客の推移

本県観光地の利用状況は、図一のように、年々増加の一途をたどり、三十八年には約八五五万人と基準年次の五七％増となっている。このうち県外客は四四五万人を越え、おもに北九州、中国、関西からの観光客が多い。

地域別には、熊本市が三二二万人、阿蘇国立公園が二二〇万人で全体の六三％を占め、次いで日奈久六四万人、天草四四万人、玉名四一万人、人吉球磨四〇万人の順となっている。

また観光消費額については観光客の増加と消費水準の向上によって年々急激な上昇をみせ、三十八年には約九五億円と推定され、基準年次の三・一倍になっている。

図1　観光客数と消費額の推移



注）消費額は、名目額である。
（資料）県観光課調べ

宿泊施設の状況

県内の旅館、ホテルの宿泊規模は、観光客の需要に即応して年々増設されているが、一旅館当り平均一九室、収容力六五人となっている。これは、全国平均一旅館当り二〇室、収容能力七四人に比べ充分とはいえず、また団体職域旅行に対処して一〇〇人以上収容できる宿泊施設に乏しい現状である。

一方、国民大衆旅行のすう勢に応じて、長陽村と人吉市に国民宿舎、瀬の本水俣市にユースホステルなどが建設されている。なお、天草町にも、国民宿舎が近く着工の予定である。

観光宣伝活動

観光宣伝活動としては、ポスター、パンフレット、リーフレットなどの印刷物をはじめ、コルトン、パネルなどを作成し、年々その宣伝方法も強化されている。特に、三十九年には本県の観光映画を制作し、広く国内各地で宣伝紹介している。また、関東、関西など広域観光を対象とする観光客誘致宣伝には「太陽とみどりのくに九州」のキャッチフレーズのもとに、九州各県との共催による観光展や観光懇談会などを開催している。

主要施策の方向

今後における観光客数は国民旅行の増加と観光基盤および受入施設の整備を積極的に行なうことにより、昭和四十五年には基準年次の約二・七倍、一、四五〇万人になるものと予想される。その結果観光消費額は基準年次の約四・八倍、一六六億円に達するものと思われる。

今後本県観光の飛躍的な発展をはかるため、道路交通網など観光基盤の整備をはかるとともに、各観光地の特性に応じた開発と各観光地相互の連けい発展を推進する。

地域別施策の方向

△新産地域▽この地域は、九州における観光交通の中心であり、かつ県内観光地の要衝にあたる熊本市を中心として、北部には菊池市とともに菊池川流域温泉都市として一帯をなす玉名、山鹿の温泉都市、南部には芦北海岸県立公園区域に属する八代日奈久の温泉都市、また山の公園として小岱山県立公園や金峰山県立公園、海の公園として三角・大矢野県立公園などがある。

★観光基盤の整備を促進し、熊本市を中心として各観光地を結ぶ観光ルートを設定するとともに、熊本市地域を九州横断国際観光ルート上の重点地域とする。その他の温泉都市と県立公園などについては、それぞれの機能に応じ、広域観光客の利用を対象として、また県民のレクリエーションの拠点として開発をはかる。

△振興地域▽北部には、すぐれた景勝美の菊池渓谷や、玉名、山鹿とともに菊池川流域の温泉都市を形成する菊池市、南部には、リアス式海岸の景勝美と多くの温泉地をもつ芦北海岸県立公園がそれぞれ中心をなし、また高原と渓谷の景勝美を有する矢部周辺県立公園や多くの人文資源が点在している。

★菊池川流域温泉都市と阿蘇地域を結ぶ観光ルートの整備を促進するとともに、新産地域における観光地との緊密化をはかり、広域観光客の利用を対象として、また県民レクリエーションの拠点として開発する。南北九州および天草と結ぶ観光ルートの整備をはかるとともに、豊富な温泉、すぐれた海岸美と高原美など地域の特性を生かした開発を行なう。

△開発地域▽　高原

阿蘇地域　世界的な複式活火山である阿蘇を中心として、わが国有数の大高原瀬の本や、高原と渓谷の景勝美を有する矢部蘇陽地域など世界的規模を有する一大山岳高原地帯であり、さらにふところには豊富な温泉を有し、多くの人文資源に富み、九州横断国際観光ルートの中心となる利用拠点である。

★自然景観の積極的な保護につとめ、自然景観と調和した利用施設、機能に応じた宿泊休養施設などの整備をはかるとともに、阿蘇五岳を中心とする周遊ルートを整備し、国際観光ルート上の利用根拠地として開発する。

球磨地域　わが国三急流の一つとして有名な球磨川とその流域にある温泉都市人吉を中心として、深山の高原と渓谷美をもつ五箇荘、すぐれた高山景勝を有する市房山県立公園などがあり、多くの史跡、文化財、天然記念物などの観光資源を有している。

★道路、交通施設など交通網の整備と宿泊施設の充実をはかるとともに、地域内観光地を周遊する観光ルートを整備し、特に南九州と結ぶ観光ルートの重点観光地域として開発する。

天草地域　日本的な内海多島と雄大な外洋景観を有し、また多くのキリシタン遺跡など人文資源、人文景観を有し、さらに画期的な観光発展をもたらす天草架橋の実現など、九州における海の利用拠点である。

★道路、交通施設など交通網の整備をはかるとともに、南国的な海洋景観とキリシタン殉教の詩的情緒を生かした特殊性のある海の楽園地として開発をはかり、名実ともに国際観光ルート上の重要拠点として開発する。

輸送網の強化と観光施設の整備

観光施設の整備

(1)　観光輸送施設の整備促進

ア、幹線道路の整備促進

観光基盤として必要な幹線道路のうち、次の道路の建設促進をはかる。

①　九州縦貫高速自動車道の建設

②　九州縦断道路の建設

③　九州中部産業開発道路の建設

④　阿蘇スカイラインの建設

⑤　熊本、宮崎間観光関連道路の建設

イ、幹線道路と観光地を結ぶ連絡道路の整備

幹線道路から観光地に到達する連絡道路、ならびに観光地域内の周遊道路を整備する。また、必要により主要観光地を結ぶ有料道路の建設をはかる。

ウ、国鉄の整備促進

鹿児島本線の複線化電化の促進をはじめ、豊肥線の増発、東京、関西からの特急・急行列車の増発と周遊ジーゼル列車の増発の実現につとめるとともに、適正ダイヤの編成、車両の改良および主要駅構内の整備向上の促進をはかり、輸送力の増強と近代化を促進する。

エ、空路の整備拡充

空路による観光客の増加に備えて、熊本空港を拡張強化するほか、定期便の増発を促進するとともに、観光開発の拠点となる主要観光地にヘヤポートの誘致をはかる。

オ、航路の整備

観光客の増加にともない、輸送上の拠点となる各港湾とけい船施設の整備をはかるとともに、民間による観光船、水中翼船や天草・長崎を結ぶフェリーボートの開設をはかり、就航の安全と快適化を推進する。

カ、バスの整備強化

快適な旅行の確立のため、車両の近代化、ダイヤの適正化、旅客サービスの向上などをはかるとともに輸送力の増強を促進する。

(2)　宿泊施設の整備

宿泊利用者の需給のアンバランスを解消するため、資金対策の強化をはかり、旅館の新築、増改築などの整備を促進し、宿泊施設の充実をはかる。また、外人観光客の受入れに対応するため、主要観光地域に国際観光ホテル・旅館の配置を誘導する。さらに、国民大衆旅行のすう勢に応じた大衆的な健全宿泊施設として、国民宿舎・ユースホステル、ロッヂなど公共的施設の強化をはかり、あわせて学校、団体、会社などのレクリエーション施設の誘致につとめる。

(3)　その他の利用施設の整備

各観光利用拠点の開発方向に応じて、レストハウス、ビジターセンターなどの休養施設、ゴルフ場、野営場、園地、休憩展望施設、海辺施設など野外施設、観光会館、水族館、歴史博物館など文化娯楽施設、そのほか駐車場、案内施設を設置し、観光利用に供する。

(4)　観光関係企業の振興

宿泊休憩施設、遊覧施設などの観光施設の整備については、民間企業による投資に負うところが大であるので、民間企業の積極的な育成ならびに誘致につとめる。